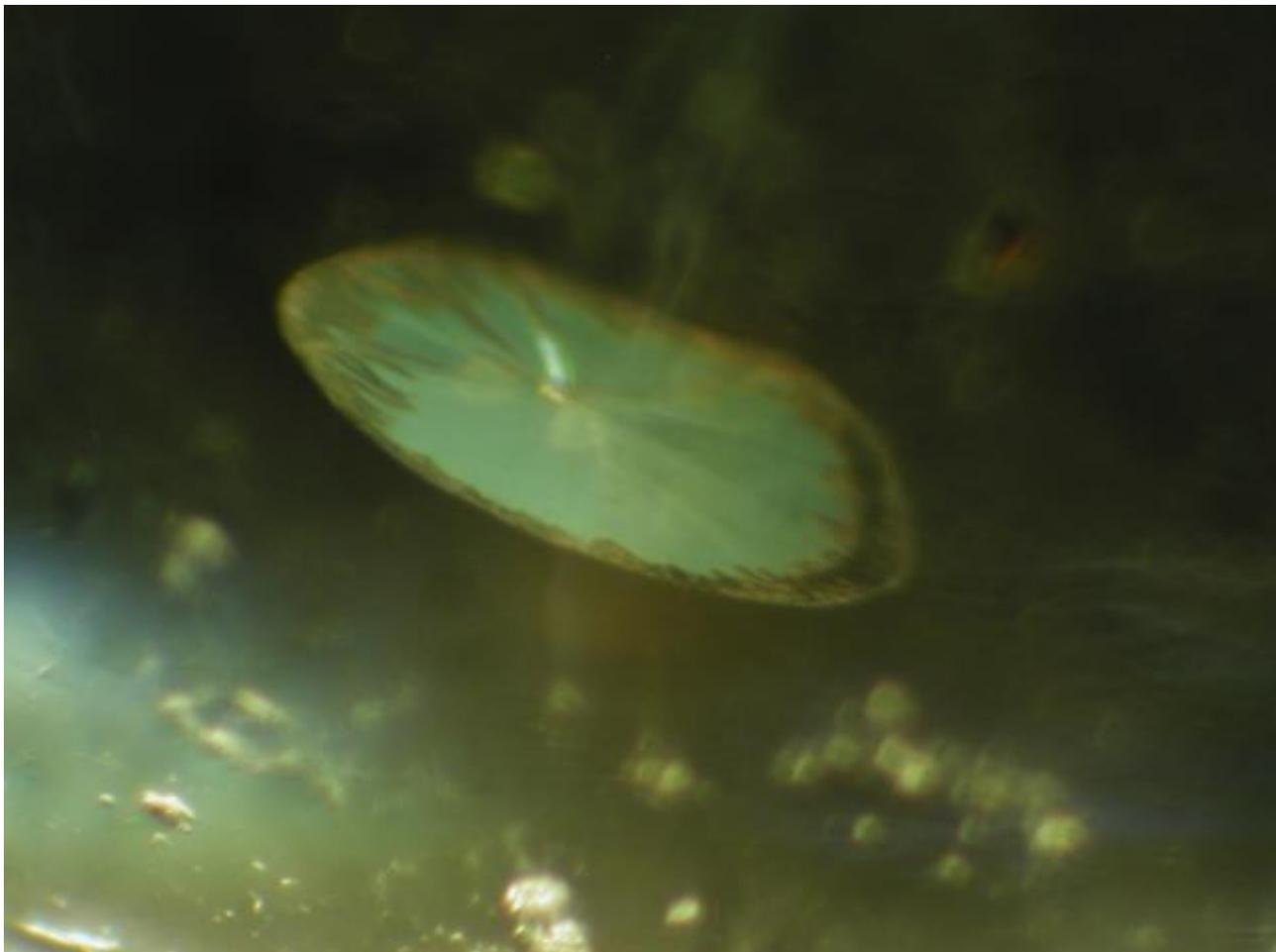


今月の写真/JGSニュースレター2017年21号(10月発行)

「ペリドット中のウォーターリリー・リーフ」



撮影・文： 高橋 泰（倍率×100で撮影）

ペリドットは化学成分のうちマグネシウムと鉄が 85:15 ぐらいで混ざり合っていると独特の黄緑色になる。この割合から外れると暗黄褐色のいわゆるオリーブ色になり、その色からか鉱物名はオリビンという。オリビン自体は地殻を構成する造岩鉱物の一種であるため世界中いたるところで産出するが、一般に小さな結晶であることが多く、美しい色とカットできるサイズが揃うことは稀である。ペリドットの多くは地下深いところで出来たペリドットがマグマの活動などで地表に持ち上げられたものである。写真は内部特徴の一つ、特徴的な円形の液膜である。池に浮かぶ蓮の葉に似ているため、通称ウォーターリリー・リーフまたはリリー・パッドと呼ばれる。